

2020 年度 除草剤・植物成長調節剤 使用基準

JA 中野市営農センター

除草剤使用基準

葉のみ枯らす

薬剤名	雑草 種類	農薬必要量 /10a (ml)	散布量 /10a (ℓ)	使用時期	使用 回数	対象品目	
バスタ液剤	1 年生	300～500ml	100～150ℓ	※対象品目 欄参照	3 回	ぶどう、梨、桃、ネクタリン、サクランボ、柿、 ブルーベリー、小粒核果類（すもも等）：収穫前日	
	多年生	500～1000ml				りんご、キウフルーツ：収穫 21 日前（収穫前規制注意）	
ザクサ液剤	1 年生	300～500ml		※対象品目 欄参照		くり：収穫 30 日前	いちょう（種子）：収穫 14 日前
	多年生	500～1000ml				果樹類（りんご、キウフルーツ等除く）：収穫前日	りんご・キウフルーツ：収穫 21 日前（収穫前規制注意）
プリグロックス L （毒物）	1 年生	800～1000ml	100～150ℓ	収穫前日	5 回	果樹類	
	多年生	1500～2000ml					

根まで枯らす

薬剤名	雑草 種類	農薬必要量 /10a (ml)	散布量 /10a (ℓ)	使用時期	使用 回数	対象品目	
ラウンドアップ マックスロード	1 年生	200～500ml	25～100ℓ	収穫 7 日前	3 回	果樹類 通常散布 50～100ℓ 少量散布 25～50ℓ (注意) もも類・西洋梨・プラム・サクランボ園は <u>薬害が発生する場合がありますので使用しない。</u>	
	多年生	500～1000ml					
タッチダウン iQ	1 年生	250～500ml	25～100ℓ	収穫 5 日前			
	多年生	500～1000ml					
サンダーボルト 007	1 年生	400～1000ml	100ℓ	収穫 7 日前			果樹類 (キウフルーツを除く) 薬害注意
	多年生						

＊注意事項 非農耕地用の除草剤は、農地・園地の外周も使用できません。

植物成長調整剤使用基準

薬剤名	作物名	使用目的	倍率	散布量	使用時期・使用方法・回数
ストッポール液剤	りんご (つがる・秋映他)	収穫前落果防止	つがる等 1500 倍 秋映等 1000 倍	300～600ℓ	収穫開始予定の 25～7 日前 2 回散布する場合は 散布間隔を 10 日程度空ける
C X－10	ぶどう	休眠打破による新梢の萌 芽促進及び発芽率向上	20 倍	150～200ℓ	収穫後発芽前まで（2 回以内） 結果母枝に散布又は塗布
	おうとう	休眠打破による発芽促進		300～600ℓ	休眠期（1 回）全面散布
ジベレリン錠剤	ぶどう	無種子化 果粒肥大促進 果房伸長促進	12.5～25ppm 2 回処理	品種別使用基準あり詳しくは担当技術員まで 10a 当たり 20～30 粒（3～4 箱）	
	すもも（貴陽）	着果安定	100～200ppm 2 回散布	10a 当り 20～50ℓ	満開 20～30 日後（第 1 回目） 満開 50～60 日後（第 2 回目）
フルメット液剤	ぶどう	無種子化 着粒安定 果粒肥大促進	1～10ppm 1 回処理	品種別使用基準あり詳しくは担当技術員まで 10a 当たり 8～10 本	
	キウイフルーツ	果実肥大促進	1～5ppm 1 回処理	開花後 20～30 日後 果実浸漬又は散布	
ストマイ液剤 20	ぶどう	無種子化	1000 倍	300ℓ	満開予定日の 14 日前～開花始期 散布又は花房浸漬（1 回）
フラスター液剤	ぶどう	着粒増加 新梢伸長抑制	500～800 倍	100～150ℓ	展葉 7～11 枚時（開花始期まで）1 回 欧州 2 倍体品種 1000～2000 倍散布
			1000～2000 倍		
			1000 倍	300ℓ	
フラスター液剤	ぶどう（シャイン・ピ オーネ・パープル）	新梢伸長抑制	500 倍	150ℓ	満開 10～40 日後 （ナガノパープルは満開 10～20 日後）

（使用の際は担当技術員までお問い合わせ下さい）

当防除暦の複製・コピーの禁止